

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 12 月 7 日 (2017.12.7)

【公開番号】特開 2016-92028 (P2016-92028A)

【公開日】平成 28 年 5 月 23 日 (2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報 2016-031

【出願番号】特願 2014-220528 (P2014-220528)

【国際特許分類】

H 0 1 F 41/06 (2016.01)

H 0 2 K 15/04 (2006.01)

H 0 1 F 41/04 (2006.01)

【F I】

H 0 1 F 41/06 A

H 0 2 K 15/04 C

H 0 2 K 15/04 F

H 0 1 F 41/04 F

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 10 月 16 日 (2017.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

コイル線材を送出および把持する線材供給手段と、送出された前記コイル線材の曲げ方向を案内する第 1 案内体と、前記第 1 案内体の位置を移動させる第 1 案内体駆動手段とを備え、前記線材供給手段を前記案内体に押し付けることによって前記コイル線材を曲折するとともに、前記線材供給手段の送出又は把持の動作に同期して前記第 1 案内体の位置を調節し少なくとも一部に円形を有するコイルを製作することを特徴とする巻線装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明に係る巻線装置は、コイル線材を送出および把持する線材供給手段と、送出されたコイル線材の曲げ方向を案内する第 1 案内体と、第 1 案内体の位置を移動させる第 1 案内体駆動手段とを備え、線材供給手段を前記案内体に押し付けることによってコイル線材を曲折するとともに、線材供給手段の送出又は把持の動作に同期して第 1 案内体の位置を調節し少なくとも一部に円形を有するコイルを製作するものである。

また、本発明の巻線装置は、コイル線材を直線駆動する第 1 駆動モードと、コイル線材を円形状に曲げる第 2 駆動モードとを有し、第 1 駆動モードと第 2 駆動モードとを交互に繰り返して、長円形状の非真円型コイルを製作するものである。

また本発明の巻線装置は、第 2 駆動モードのみにより真円型コイルを製作するものである。